

1. 集会シンポ概要

- 日時：2022年4月17日(日)13時～16時頃
- 主催：介護7団体
- 会場：完全オンライン、主催者会場(全労連会館3階会議室)
- 集会名称：「介護を崩壊させない！集会」

2. 本集会の趣旨・目的【素案】

2年以上に及ぶコロナ禍で、在宅での介護も施設での介護も疲弊しきっています。家族介護の負担が増加し「いつまでこんな状態が続くのか」「死んでしまいたい」と言った声が寄せられています。また、感染拡大は介護施設にも広がり病院への入院を受け入れられず「留め置き」状態がさらに感染拡大に拍車をかけています。介護事業者も介護従事者も、必死の努力の中で高齢者のいのちと暮らしを守っています。そうした人々の悲痛な叫びの中で、政府は介護労働者などエッセンシャルワーカーの賃金引上げを打ち出しましたが、全ての介護従事者に行きわたるわけでもなく、秋以降は利用者の負担増を進めようとしています。

納得いきません。これでは「介護は崩壊してしまう」との危機感は、現実のものとなってしまいます。利用者・家族、介護従事者、介護事業者のそれぞれの介護の現場を見つめ、何をしていけば良いかを考えていきたいと思えます。

介護を崩壊させない、そのためにご参加ください。

3. プログラム(案) 13時～16時30分頃 3時間30分位

司会(社保協・是枝)

【13:00～】開会あいさつ (市民の会・岡島さん) 5分

講演者の紹介 (医療介護福祉の会・小島さん)

【13:05～】講演(質疑含) 90分

講師：井手栄策さん(慶應義塾大学経済学部教授)

主たる講演内容

ベーシックサービスについて、ソーシャルワークについて

【14:35～】休憩

【14:45～】シンポジウム 100分 オンライン可

趣旨、ねらい

要介護当事者と家族、介護職員、事業者がコロナ禍中でどのような状況に置かれたか、それぞれの立場から報告していただき、この現状を立て直すために何ができるかを話し合う

シンポジスト

コーディネータ (医療・介護・福祉の会/小島さん)

シンポジスト

介護利用者・家族 認知症の人と家族の会()
介護従事者 現場労働者 (日本医労連・寺田さん)【確定】
介護従事者 現場労働者 (京都・櫻庭さん?) 鈴木さんより依頼
介護事業者 21 老福連 ()

シンポの構成

コーディネータ シンポの趣旨説明など (5分)
シンポジスト・第1回発言 (15分×4人=60分)
討論：主はシンポジスト間の討論・意見交換 (30分)
〈参加者はチャットでの意見は求め、可能な範囲で討論に反映する〉
シンポのまとめ(小島さん) (5分)

【16：25～】 まとめなど

集会まとめ 5分 (民医連)

閉会あいさつ 5分 司会者より

【16：35】 閉会

4. 集会資料 ダウンロード、会場用資料

講演資料

シンポジストの発言に関わる資料

情勢資料 給付費分科会など

各団体からの提供資料

5. 参加申し込み、視聴

Zoomでの参加 発言できる 要参加申し込み

YouTubeでの視聴 視聴のみ 申し込み不要

6. 費用について

講師料5万円+交通費1万円、シンポジスト各5千円 計7万円位

⇒7団体各1万円の負担

7. その他